

MURC 政策研究レポート

外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査 (平成 22 年 11 月)

株式会社インジェスターとの共同企画により毎月実施している「外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査(平成 22 年 11 月)」について、その結果概要を紹介する。

【結果概要】

回答のあった旅行者の状況について(不明者を除いた比較)

1. 回答者数は 428 名で、前月 436 名からほぼ横ばいである。1 日あたり 39.5 名で、前月 18.2 名から 117.0% 増である。
2. 性比(*1)は 134 で、前月の 127 に比べて男性比率が微増したもののほぼ横ばいである。
3. 平均年齢(*2)は 41.4 歳で、前月の 42.0 歳とほぼ同等である。
4. 回答者に占める中国人比率は 45.1% で、前月の 48.2% からさらに減少した。

旅行者の旅行行動について(不明者を除いた比較)

1. 主な渡航目的は「観光」71.9%、「業務」20.3%、「乗継」7.8%で、「観光」が微増、「業務」が微減である。
2. 渡航目的「観光」の旅行者のうち団体旅行者は 47.0% であり、前月の 56.3% より低下した。
3. 訪問先は「秋葉原」49.2%、「銀座」「新宿」ともに 42.9%、「浅草」24.6%、「お台場」20.6% で上位 5 位までの順位は前月までと同一である。

旅行者の購買動向について(不明者を除いた比較)

1. 空港免税店で何らかの商品を購入した人は 91.1% であった。観測場所の関係から、商品購入率は高くなっている。
2. 購入商品の使用目的は自分用 63.3%、お土産用 46.8% で、先月と比較してお土産購入者が大幅に増加した。

今月のトピックス:

1. 急増してきた中国人旅行者も、直近では伸び止まり
9 月には 57.3% を占めていた中国人旅行者であるが、11 月は 45.1% と調査開始時の比率をも大きく下回った。
2. 男性に人気の「秋葉原」女性に人気の「新宿」「浅草」

男性向きの観光資源が多い「秋葉原」は男性比率が非常に高く、「新宿」や「浅草」は女性比率が高い。「秋葉原」「浅草」はあわせて巡る観光客も多いが、個人旅行者が興味や嗜好を重視した訪問地選定を行っている。

*1 性比 = 男性数 / 女性数 × 100

*2 20 歳代以下は 24.5 歳、30 歳代は 34.5 歳、40 歳代は 44.5 歳、50 歳代は 54.5 歳、60 歳代以上は 64.5 歳を代表年齢として算出。

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

政策研究事業本部(東京)公共経営・地域政策部 主任研究員 妹尾 康志
研究員 中田 雄介

〒108-8248 東京都港区港南 2-16-4

TEL: 03-6711-1242 / FAX: 03-6711-1290

外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査 (平成 22 年 11 月)

株式会社インジェスターとの共同企画による「外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査（平成 22 年 11 月）」の概要は、下記の通りである。

【実査概要】

観測期間：平成 22(2010)年 11 月 20 日～11 月 30 日 11 日間

観測方法：スタッフによる対面式聞き取り

観測対象：出国予定の外国人旅行者

観測場所：成田空港

回答者数：428 名

担 当：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(設計および分析)

株式会社インジェスター(実査および集計)

【結果概要】

回答のあった旅行者の状況について(回答不明者を除いた比較)

1. 回答者数は 428 名で、前月の 436 名からほぼ横ばいである。1 日あたりでは 39.5 名で、前月の 18.2 名から 117.0%増である。
2. 性比(*1)は 134 で、前月調査の 127 に比べて男性の構成比が微増したもののほぼ横ばいとなっている。
3. 平均年齢(*2)は 41.4 歳で、前月調査の 42.0 歳とほぼ同等である。
4. 回答者に占める中国人比率は 45.1%で、前月調査の 48.2%からさらに減少している。

旅行者の旅行行動について(回答不明者を除いた比較)

1. 主な渡航目的は「観光」が 71.9%で最も多く、次いで「業務」20.3%、「乗継」7.8%となった。
2. 渡航目的が「観光」の旅行者のうち、団体旅行者は 47.0%であり、前月の 56.3%より低下している。
3. 日本での訪問先としては、訪問先は「秋葉原」49.2%、「銀座」「新宿」ともに 42.9%、「浅草」24.6%、「お台場」20.6%で上位 5 位までの順位は、前月と全く変わらなかった。

旅行者の購買動向について(回答不明者を除いた比較)

1. 空港免税店で何らかの商品を購入した人は 91.1%であった。
2. 自分用に購入した商品がある人は 63.3%であり、お土産用に購入した商品がある人は 46.8%である。先月と比較して、お土産の購入者が大幅に増加している。

*1 性比 = 男性数 / 女性数 × 100

*2 20 歳代以下は 24.5 歳、30 歳代は 34.5 歳、40 歳代は 44.5 歳、50 歳代は 54.5 歳、60 歳代以上は 64.5 歳を代表年齢として算出。

【集計結果】(*1)

1. 旅行者に関する観測結果

→ 性別

n = 428	男性	女性	不明
	242	180	6
比率	56.5%	42.1%	1.4%
不明者を除いた比率	57.3%	42.7%	-

→ 年齢別

n = 428	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	不明
	43	128	137	72	11	37
比率	10.0%	29.9%	32.0%	16.8%	2.6%	8.6%
不明者を除いた比率	11.0%	32.7%	35.0%	18.4%	2.8%	-

→ 国・地域別

n = 428	韓国	中国	台湾	その他 アジア	欧米	その他	不明
	50	178	39	50	49	29	33
比率	11.7%	41.6%	9.1%	11.7%	11.4%	6.8%	7.7%
不明者を除いた比率	12.7%	45.1%	9.9%	12.7%	12.4%	7.3%	-

2. 旅行行動に関する観測結果

→ 主な訪日目的

n = 428	観光	業務	乗継	不明
	202	57	22	148
比率	47.2%	13.3%	5.1%	34.3%
不明者を除いた比率	71.9%	20.3%	7.8%	-

→ 訪日目的が「観光」の場合の旅行形態

n = 202	個人旅行	団体旅行	不明
	97	86	19
比率	48.0%	42.6%	9.4%
不明者を除いた比率	53.0%	47.0%	-

→ 日本での訪問先(複数回答可)

n = 428	秋葉原	銀座	新宿	浅草	お台場	渋谷	不明
	62	54	54	31	26	23	302
比率	14.5%	12.6%	12.6%	7.2%	6.1%	5.4%	70.6%
不明者を除いた比率	49.2%	42.9%	42.9%	24.6%	20.6%	18.3%	-

【少数意見】

六本木22、原宿・明治神宮21、東京タワー19、上野18、京都12、大阪8、箱根6、横浜4、東京ディズニーリゾート2

3. 購買行動に関する観測結果

→ 空港免税店での購買行動

n = 428	購入した	購入していない
	390	38
比率	91.1%	8.9%

→ 購入予定商品の有無

n = 428	はい	いいえ	不明
	311	68	49
比率	72.7%	15.9%	11.4%
不明者を除いた比率	82.1%	17.9%	-

→ 商品の購買目的(複数回答可)

n = 311	自分用	お土産用	その他	不明
	219	162	3	41
比率	56.6%	41.9%	0.8%	7.0%
不明者を除いた比率	63.3%	46.8%	0.9%	-

(お土産用の内訳: 複数回答可)

n = 162	家族用	友人用	同僚用	不明
	43	19	2	98
比率	26.5%	11.7%	1.2%	60.5%
不明者を除いた比率	67.2%	29.7%	3.1%	-

*1 端数調整の関係で、比率の合計は100%にならない場合がある。

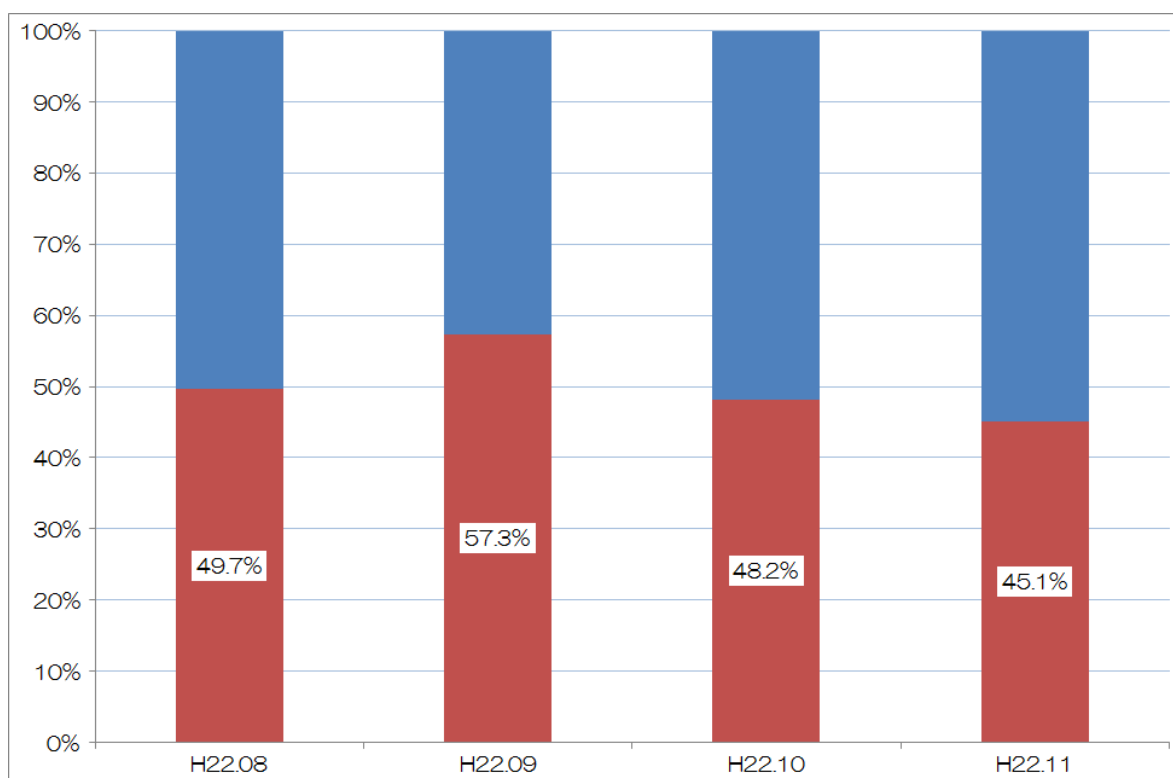
【今月のトピックス】

1. 急増してきた中国人旅行者も、直近では伸び止まり

訪日数が急増し、また購買意欲も旺盛として注目を浴びてきた中国人旅行者であるが、定点観測調査開始以来の動きをみると、開始当初の8月には49.7%と全体のほぼ半数を占めており、翌9月にはさらに比率を高めて57.3%となり、過半数を占めた。

しかし、その後急激に比率が低下し、10月には48.2%で開始時の比率と同程度まで戻り、今月11月は45.1%と、ついに調査開始時の比率を大きく下回る結果となった。

図表 調査対象者に中国人旅行者の占める比率の推移



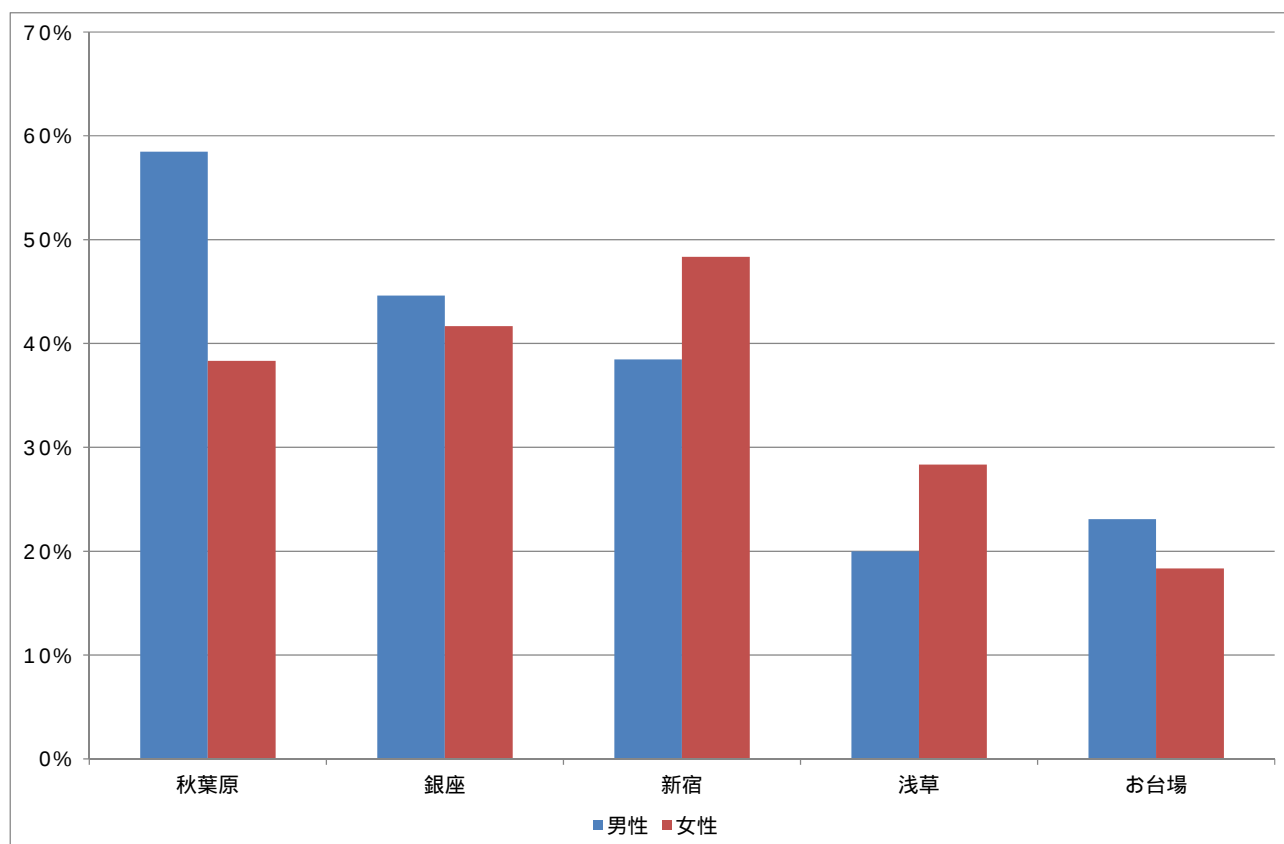
注釈) 当該設問に対する回答不明者は除いて集計した。

9月以降、中国人旅行者の減少が懸念されていたが、この推移からみると9月は逆に訪日者に占める比率は上昇していた。しかし、その後の低下は顕著であり、10月以降、1か月のタイムラグをもって減少してきたことが伺える。

2. 男性に人気の「秋葉原」女性に人気の「新宿」「浅草」

これまでの定点観測調査の結果から、成田空港を利用する外国人の人気観光地としては「秋葉原」「銀座」「新宿」「浅草」「お台場」の5つが安定した結果を示している。一方、国籍別や年齢別でみた場合には訪問者にそれぞれ特徴を有していたことから、必ずしも同じ観光客が巡っているわけでもないことも見えてきている。残る基本属性である性別でも特徴を分析したところ、これらの観光地への性別訪問率は「秋葉原」「銀座」「お台場」は男性の方が高く、「新宿」「浅草」は女性の方が高い。特に「秋葉原」では男性訪問率、「新宿」「浅草」では女性訪問率が高めになっている。

図表 「性別」×「観光地訪問率」



注釈) 当該設問に対する回答不明者は除いて集計した。

「秋葉原」については、主力観光資源である「電化製品」「萌え系商品」に男性向きのものが多いためと考えられる。一方で「新宿」や「浅草」の観光資源は女性向きということになった。「秋葉原」「浅草」は団体旅行の場合あわせて巡る観光客も多いが、個人旅行を中心に、興味や嗜好を重視した訪問地選定がなされている状況がうかがえる。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所を三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社および株式会社インジェスター共同企画「外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査」と明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。